

# ディミニューション 「がつつり」事始め

菅沼オンリー in 関西

古楽の実践の中で耳にするであろう、しかし曖昧な用法で使われている装飾技法「ディミニューション」という言葉。それをテーマとした大好評オンリーイベント、初・関西上陸。「ディミニューション」という言葉、その定義の確認、当時の資料の紹介、技法の歴史の概観、ディミニューションを通して見えてくる16、17世紀の音楽理論の変遷、ポリフォニーの演奏美学のダイナミクス、そしてルネサンス音楽の新たな魅力と「分割」をキーワードに開く音楽の歴史。それらを2時間という制限時間で頼張り尽くす。

ディミニューションを知らない人も、改めて深く知りたい人も、新しい世界に飛び込みたい方も――

予定トピック：

- ・「ディミニューション」とは？――定義・時代範囲・用語法――
- ・ディミニューションの「資料」と「実践」とは？
- ・当時の著述家に学ぶ！ディミニューションの「付け方」
- ・「分割」の西洋音楽史：14世紀から19世紀まで

2019年8月31日（土）

1400 - 1600 (OPEN 1330 / 休憩込み) / 参加費：2500円

於：大阪市立男女共同参画センタークレオ大阪中央館・音楽室

(地下鉄谷町線「四天王寺前夕陽ヶ丘駅」駅徒歩3分 / <https://goo.gl/maps/ZbWGpvuw6gfzJ14z8>)

トーク・演奏：菅沼起一（リコーダー）

(東京藝術大学古楽科リコーダー専攻を経て、同大学院修士課程音楽学専攻を修了。博士後期課程在籍中。専門はディミニューション技法をはじめとする演奏習慣研究、音楽理論史。昨年9月よりバーゼル・スコラ・カントルム（スイス）、音楽理論科へ留学中)

ご予約：<https://tiget.net/events/62142> / Twitter：<https://twitter.com/kiichisuganuma> / [nisenoro51@gmail.com](mailto:nisenoro51@gmail.com) (菅沼)

(QRコードから予約ページへアクセスできます。メール、TwitterアカウントのDMでも受け付けております)

